

特集

激論！流通、J R、日ハムetc

- 出席者
- A 全国紙記者
 - B 地方紙記者
 - C 民放報道部記者
 - D フリージャーナリスト



▲北海道で強さを発揮しているイオン

新しい年が幕を開けた。2024年の北海道は、流通業界で大きな変革があり、JRやバスなどの公共交通はいつそう減便の流れが加速した。新幹線の札幌延伸は2038年にまですれ込む見通しとなり、経済界は落胆の色を隠せない。一方、スポーツ界では日本ハムファイターズが2位と健闘して道民を歓喜させたが、コンサドーレ札幌はJ2に陥落。明暗が分かれる結果となった。新春恒例の記者座談会企画の後編では、政治以外のテーマについて激論を交わし、25年の北海道を展望してもらった。

(構成・本誌編集部) ※文中一部敬称略

西友撤退で熾烈な流通バトル

A 政治編に続き、経済、社会などのテーマで熱い議論を、と考えていましたが、みなさんお疲れの様子でしたので、日を改めて再び集まっていたいただきました。では、前回同様、私が進行役も兼ねさせていたくので、よろしくお願いします。まずは流通業界の話題から。

C 年越しの買い物は、毎年、近所の西友に行っていたんだけど、なくなってしまう寂しいよ。まさか北海道から西友が消えるとは……。

B 西友はイオンが全店を継承。しかも、撤退表明後、わずかな期間で商圏を分析し、店ごとに業態を変えているのは流石だよ。

D 北海道の流通は、イオンの一人勝ちといった印象だね。この前、東京の知人のところへ遊びに行ったとき、近所の西友に行ったら、もう懐かしい感じがした(笑) 知人宅は西武線の沿線だから、いわば西友の金城湯池。すごく活気があって、北海道での撤退のニュースが別世界のことにように思えたよ。

A ヨーカドーは去年、帯広、屯田、北見、福住と閉店になり、琴似も年明けの5日に閉店に。残るアリオ札幌も13日に閉まるみたいだけど、なにせ本部のセブン&アイもまた海外企業との株争奪戦など落ち着かない状況だからね。

ちなみに、同じく株の取得を巡るバトルで注目された道内小売・流通関連の某企業の社長は「上場なんかしなけりゃよかった」と嘆いているとか。何が起るかわからないこれからの時代、会社経営は大変だ。

B ヨーカドーはダイイチと話題の「黒船」ロピアが継承したけれど、ロピアはとにかく安いし、価格面のアドバンテージに加え、女性客を狙ったオシャレな店舗でも勝負するらしいから、同エリアのライバル店は気が気で

C 某大手グループは、老朽化した店舗が多く、ロピアに対抗して店舗の改装を行うとなると、かなりのコスト増が避けられない。今年は道内流通のバトルが、いっそう激化しそうだが、競争力向上のため、この物価高の時代、消費者とすれば悪い話ではないよね。

すすきので東急不動産が存在感

A 札幌以外では、帯広が話題になることが多かった。さつき名前が出た前がヨーカドー

B ただ、コンビニに

C 1のほか、老舗の藤丸長崎屋が相次ぎ閉店に。藤丸は新経営陣で再起を図ることが決まったものの、いろいろな問題も指摘されていて、はたしてどうなるか……。



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

TEL 011-644-0101

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)